

事業番号	09 03 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	
		実施期間	H16～	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	4-5 地球環境への貢献				

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	<p>○「信州の環境にやさしい農産物認証」等により環境負荷低減の取組みは拡大しているが、面的・組織的な広がりが不十分である。</p> <p>○GAPは農業者にとって経営改善に必要な取組みであるとともに、実需者からも認証取得等の拡大が求められている。</p> <p>○新規病害虫の発生や薬剤抵抗性を有する病害虫の増加等に対し、的確な情報発信と防除指導が必要である。</p> <p>○残留基準値超過や飛散等の事案が発生しており、一層の農薬適正使用の指導が必要である。</p>
	【目指す姿】
	<p>○GAPによる食品の安全確保や環境保全の取組が盛んに行われ、環境と調和した農業が広く展開される。</p> <p>○環境農業技術の導入が進み、地域ぐるみの環境農業の取組が進められ、自然環境への負荷の少ない農業が生まれる。</p> <p>○環境にやさしい農業の取組みが消費者に理解され、同取組みにより生産された農産物が消費者に選択される。</p> <p>○農業者が農畜産物の安全性確保に対する高い意識を持ち、農薬の適正使用など、適正な農業生産活動が行われている。</p>
	【実施内容】
	○よりレベルの高いGAPと、環境保全型農業直接支払の取組みを拡大する。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]

No.	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度		目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
			前年度繰越									
1	国際水準GAPの取得件数	28	45	↑	44	↓	41	達成		予算額	83,610	181,955
2	化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上削減し、環境保全に資する技術に取り組む面積	602ha	571ha	↓	623ha	↑	706ha	未達成		合計(A)	83,610	181,955
3										うち一般財源	20,753	20,946
4										決算額(B)	75,962	105,925
										職員数(人)	18.5	18.5

成果指標設定理由	①環境対策が必須である国際水準GAPを取得した農業法人等の動向が評価できるため ②化学肥料や化学合成農薬を削減した環境保全型の農業の普及状況が評価できるため
----------	---

達成状況の分析	①GAP指導員による組織的な普及推進により、目標は達成した。 ②農業者の意識の高まりから、環境保全に資する技術に取り組む面積は令和元年度より増加したが、近年は気象変動により病害虫の発生が多くなり防除回数が増加した理由で、目標には達さなかった。
---------	--

主な取組	<p>○国際水準GAP認証取得支援 農業農村支援センター等におけるGAP指導員の養成を図るとともに、教育機関の国際水準GAP取得を支援。</p> <p>○有機農業プラットフォームの活動支援 プラットフォーム会員等を対象とした勉強会を開催し、有機給食等、会員らによる活動を支援。</p>	 
		【教育機関(農業大学校)での公開認証審査】 【有機農業プラットフォーム勉強会】

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい農業について幅広い生産者、実需者、消費者への理解の促進と、環境にやさしい農業技術の普及。 ・新たな病害虫や防除が難しい病害虫が増加しており、農薬使用量の抑制が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSや研修会により認知度の向上を図るとともに、実証ほ場等を通じて普及を推進する。 ・侵入警戒調査や発生予察、新しい防除体系の確立により、的確な情報発信と防除を実施する。

事業番号 09 03 02 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	GAP・環境農業総合対策事業	11,303 千円	6,170 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	GAPの推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・GAP指導員の育成（9名） ・GAPスキルアップ研修の実施（2回） ・国際水準GAP認証取得支援（1件）
2	環境農業の推進	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・信州の環境にやさしい農産物認証制度の運用（329件、1,825ha） ・環境にやさしい農業実証事業の実施（実証ほ場4カ所）
3	有機農業参入・実践支援	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・オーガニックアカデミーの開催（10講） ・有機農業推進プラットフォーム会員独自活動の支援（11事業） ・研修会の開催（4回）

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	環境保全型農業直接支払交付金	27,245 千円	34,166 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	環境保全型農業直接支払事業	交付金	<ul style="list-style-type: none"> ・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%以上削減した上で、地球温暖化防止、生物多様性保全の取組（88件、623ha）に対する交付金

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	植物防疫事業	35,485 千円	63,621 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	発生予察事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫発生予察ほ場の設置及び調査（43ヶ所） ・日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システムを活用した防除指導
2	病害虫防除所運営費	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫防除所の設置及び業務の運営
3	重要病害虫まん延防止対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・ミバエ等の侵入警戒調査（431ヶ所） ・テンサイシストセンチュウ防除の実施（43ha） ・薬剤耐性リンゴ黒星病の発生状況調査及び防除対策

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
4	農薬安全使用対策事業	1,929 千円	1,968 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	農薬安全使用対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・農薬の適正使用の推進（web研修会1回） ・マイナー品目の農薬登録拡大（4剤） ・環境モニタリング調査の実施（1ヶ所）